



文部科学省

令和6年度

消費者教育フェスタinくまもと

～わたしたちができることからひとつずつ～
地域で実践 わたしたちのエシカル消費

実施報告書



令和7年2月

NPO法人熊本消費者協会

1. 実施概要

① 趣旨

消費者自らが、社会的課題の解決を図ったり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行ったりする、そのような「自ら考え、選択し、行動する消費者」が一人でも多くなるよう、私たちは、熊本の地で、様々な団体が連携して活動をしています。

そのような活動を、様々な団体が一堂に会する場で発表することで、他の団体の活動を理解し、更に連携を深め、多様な主体の新たな連携を作り出すことができると考えております。

今回は、熊本の団体・学校の発表、展示の場を設置することで、多様な主体の連携の推進とさらなる消費者教育の実践につなげることを目的とします。

また、そのような取組を全国に発信することで、他の地域における多様な主体の連携と消費者教育の実践の推進に資することを目的とします。

② プログラム

11：00～16：00 パネル展示の見学・交流

11：30～12：10 パネル展示の紹介 ※オンライン配信

13：00 開会・行政説明等

13：15 基調講演「それぞれのエシカル消費」

川口恵子氏（尚絅大学短期大学部名誉教授）

13：50 事例①「フードドライブの取組について」

生活協同組合くまもと・クラーク記念国際高等学校

事例②「たすけあって支えあって～組合員の事業から県民を対象とした事業へ～」

グリーンコープ生活協同組合くまもと・熊本県弁護士会消費者問題対策委員会

事例③「養豚業におけるゼロエミッションへの挑戦」

熊本県立熊本農業高等学校

事例④「私たちの実践～エシカル消費」

熊本市婦人会連絡協議会

事例⑤「人とつながる 社会とつながる 未来とつながる ESD Well-being」

熊本市立北部中学校

事例⑥「私たちにできること

～JA女性部だからこそできること 次世代を担う子どもたちへ～

JA熊本県女性組織協議会 JA やつしろ女性部

15：20 質疑・意見交換（会場参加者・Web参加者）

コーディネーター・講評 川口恵子氏

16：00 終了

2. 開会・行政説明

初めに、共催団体である熊本県消費者団体連絡協議会の嶋田誠代表より開会のあいさつを行いました。

次いで主催の文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課の中園和貴課長から、同事業を行うに当たっての挨拶と消費者教育の取組について説明を行いました。

次に、本フェスタをご後援いただいている消費者庁消費者教育推進課政策企画専門官の中川壮一様に、消費者教育の取組について説明をいただきました。



司会は熊本消費者協会の齋藤信子



熊本県消団連 嶋田誠代表



文部科学省 中園和貴課長



消費者庁 中川壮一様

3. 基調講演

「それぞれのエシカル消費」 川口恵子氏（尚絅短期大学部名誉教授）

「エシカル消費」について、消費者教育の視点からやさしくわかりやすくお話をいただきました。

エシカルとは、倫理的と訳されているが、法的な縛りがなくても、「人としてそのようなことをしていいのか？」ということ。

消費者教育は、①意思決定、②資源管理、③市民参加に分類できる。特に「意思決定」が重要。「買うべきか買わざるべきか」。批判的思考をもとに判断することが求められる。「エシカル消費」はまさに個人個人が意思決定を求められるもの。



4. 事例報告

① 「フードドライブの取組について」

生活協同組合くまもと 亀井伸枝さん、クラーク記念国際高校 京卓音さん、一瀬麻由さん
生協くまもとでは、2019年6月28日の第98期通常総代会で特別アピールとして採択された「生協くまもとSDGs行動宣言」を掲げ、その達成に向け2030年までの目標となるアクションプランを提示しました。その取組の一つとして「あなたのもったいないをだれかのありがとうへ」の気持ちが込められたフードドライブの取組は、2024年11月末で13,167点の食品が寄せられ支援団体等に届けられました。クラーク記念国際高校からは「～地域とのつながりでフードロス削減～」と題して、生協と連携したフードドライブの取組などを報告がありました。



② 「たすけあって支えあって～組合員の事業から県民を対象とした事業へ～」

グリーンコープ 生協くまもと 中島明美さん、県弁護士会消費者問題対策委員会 原彰宏さん
グリーンコープ生活協同組合くまもとでは、組合員参画の学習会を重ね、多重債務に苦しんでいる組合員の支援やサポートをしたり予防したりする事業を、組合員の「たすけあい」として始めました。その事業成果に賛同した熊本県弁護士会消費者問題対策委員会のメンバーが県議会に働きかけたことにより、県の事業として拡充され、現在、多くの県民を救済する事業になりました。



③ 「養豚業におけるゼロエミッションへの挑戦」

熊本県立熊本農業高校 井立千暁さん、北岡芽依さん、飯田結さん、龍野夢響さん
飼料費高騰や国内の食品廃棄量の問題に対し、食品企業と畜産農家をマッチングし食品廃棄物を家畜用飼料として利用しました。また本校での精肉加工実習で廃棄される豚脂を活用した洗濯用石鹼を開発し、フェアトレードや発展途上国への普及などを行うことで、養豚業からの一切廃棄物を出さない「熊農ゼロエミッションシステム」を創りだす取組を行っています。その取組について報告しました。



④ 「私たちの実践～エシカル消費」

熊本市地域婦人会連絡協議会 植村米子さん
私たち婦人会は昭和21年3月に発足し、これまで、ミニトマトや牛肉の産地表示偽装問題など食の問題や、過剰包装運動、NOレジ袋運動、マイバックの配布など環境問題への取組みを行ってきました。さらに、有機野菜やフェアトレード商品を積極的に購入し、エコクッキングの啓発活動など食品ロスへも取り組んでいます。これらの私たちのエシカル消費に関する実践について報告しました。



⑤ 人とつながる 社会とつながる 未来とつながる ESD Well-being

熊本市立北部中学校 上野小百合さん, 川上真子さん, 野原菜々子さん, 小泉明璃さん, 福田瑛里奈さん

北部中学校では、「自立的・探究的に課題を解決しようとする生徒の育成」をテーマに、学校生活や地域社会などの身の回りから課題を発見し、解決策を提案する探究学習に取り組んでいます。本校の放送部は部活動の一環として、フェアトレード商品の試食会の開催や、日本フェアトレード委員会や専門店へ取材を通じて学んだ内容を紹介動画にまとめる探究活動を行いました。完成した動画作品とその制作過程で学んだことについて報告しました。



⑥ 「私たちにできること」～J A女性部だからこそできること次世代を担う子どもたちへ～

J A 熊本県女性組織協議会 J A やつしろ女性部 喜多川容紫子さん

J A 女性部としてできること。食の教育（田植え・稲刈り）次世代を担う子どもたちへ、安心・安全な地元の野菜を提供します。また、使用済切手回収箱を設置し、社会福祉協議会やボランティア活動の貴重な資源として活用してもらいます。フードロスをなくすために規格外野菜を使い加工し、ケチャップ・梨ダレを製造しています。今後、フードドライヤーなども検討する予定です。身近な食糧、農業、環境をいかに持続的なものにしていくか、一人ひとりのエシカルな活動が大切となります。



5. 質疑・意見交換・講評

事例発表の終了後、各団体の発表者にステージへ登壇いただき、会場およびWeb参加者からの質問や意見を頂戴しました。会場参加者からは学校教育のなかで消費者教育をどう取り組むかについて質問が出され、参加者も含めて意見交換ができました。

最後に、コーディネーターの川口恵子先生より講評をいただきました。「熊本の消費者のパワーを感じました。中学生や高校生たちの若い力に希望をつなぎたいし、長年に渡ってコツコツと活動を続けてきた各消費者団体に敬意を表します。」とまとめました。



6. パネル展示

<パネル展示の団体と各テーマ>

No.	団体名	テーマ
①	文部科学省	全国の消費者教育の先駆的实践者等を「消費者教育アドバイザー」として派遣します。
②	消費者庁	エシカル消費や食品ロスの削減、「消費者力」の育成・強化を図る教材等についてご紹介。
③	奈良女子大学 BEACS	大学生のグループ。地域の子どもや高齢者が楽しく学べるプログラムの企画をしています。
④	(公財)消費者教育支援センター	「教材」と「米沢市における消費者教育推進計画の策定に向けた取組み」を紹介します！
⑤	J A 熊本県女性組織協議会 J A やつしろ女性部	環境に配慮した消費活動について
⑥	熊本市立北部中学校	NHK放送コンテストTV番組部門優良賞「教えてナナちゃん」(動画概要展示)
⑦	熊本県立熊本農業高等学校	養豚業におけるゼロエミッションへの挑戦 「藍を広め、愛を育む」実物展示
⑧	フェアトレードシティくまもと推進委員会	フェアトレードシティ熊本市のパネル フェアトレード製品の展示
⑨	グリーンコープ生活協同組合くまもと	私たちの願い、みどりの地球をみどりのままで 地球の未来を守りたい！小さな一歩が明日を変えます
⑩	生活協同組合くまもと	生協くまもとSDGs達成に向けた取り組み
⑪	クラーク記念国際高等学校	地域との繋がりでフードロス削減
⑫	九州農政局消費生活課	食の安全・食育の推進 みどりの食料システム戦略
⑬	熊本県くらしの安全推進課	食の安全・食品表示について
⑭	熊本県消費生活課	消費者教育と啓発について

<パネル展示の様様> 11:30~12:10 Web参加者向けにインタビュー取材を中継



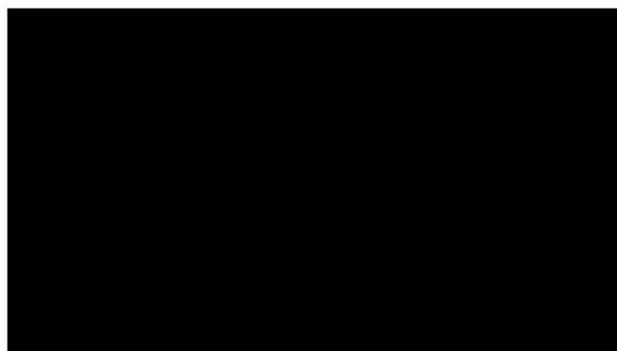
① 文部科学省 伊藤拓海さん



インタビューは田中愛美（熊本消費者協会）



②消費者庁 中川壮一さん



③奈良女子大学 BEACS



④(公財)消費者教育支援センター



⑤JA熊本県女性組織協議会
喜多川容紫子さん



⑥熊本市立北部中学校
小泉明璃さん、野原菜々子さん



⑦熊本県立熊本農業高等学校 北岡芽依さん



⑧フェアトレードシティくまもと推進委員会
明石祥子さん



⑨グリーンコープ生活協同組合くまもと
株元知子さん



⑩生活協同組合くまもと 西村浩一さん



⑪クラーク記念国際高等学校
白石彩美さん、白石果穂さん



⑫九州農政局の宮廣宗則さん



⑬熊本県くらしの安全推進課
高濱郁葉さん



⑭熊本県消費生活課 葛西翔吾さん

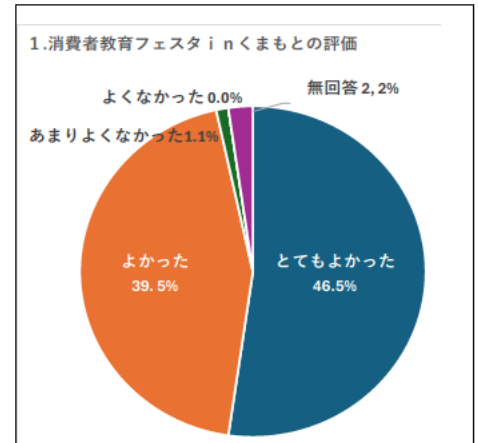
どれも消費者にと
って興味深く、ため
になるパネル展示
でした。ありがとう
ございました。



7. 参加者アンケート（会場およびWeb）

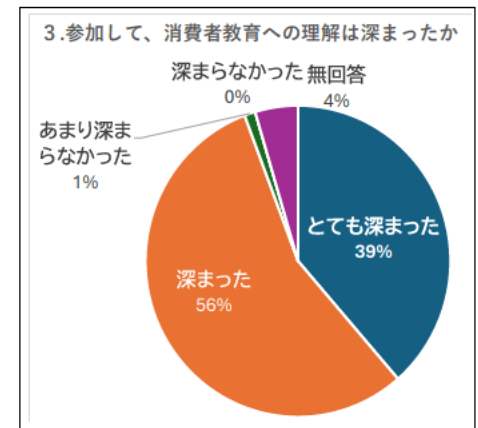
1. 消費者教育フェスタ in くまとの評価

	合計	会場	WEB
とてもよかった	46	29	17
よかった	39	25	14
あまりよくなかった	1	1	0
よくなかった	0	0	0
無回答	2	2	0
合計	88	57	31



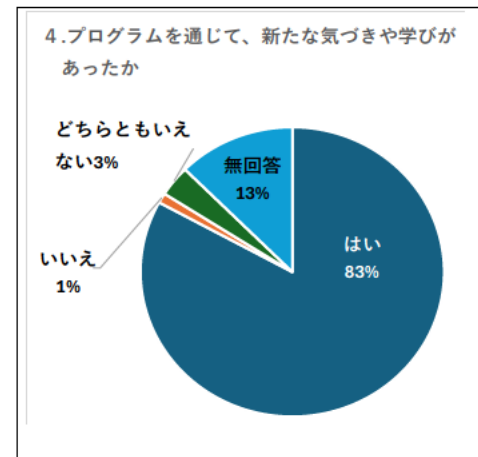
3. 参加して、消費者教育への理解は深まったか

	合計	会場	WEB
とても深まった	34	18	16
深まった	49	35	14
あまり深まらなかった	1	0	1
深まらなかった	0	0	0
無回答	4	4	0
合計	88	57	31



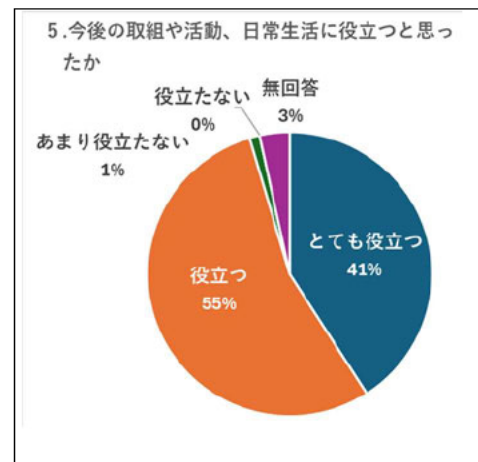
4. プログラムを通じて新たな気づきや学びがあったか

	合計	会場	WEB
はい	73	43	30
いいえ	1	1	0
どちらともいえない	3	2	1
無回答	11	11	0
合計	88	57	31



5. 今後の取組や活動、日常生活に役立つと思ったか

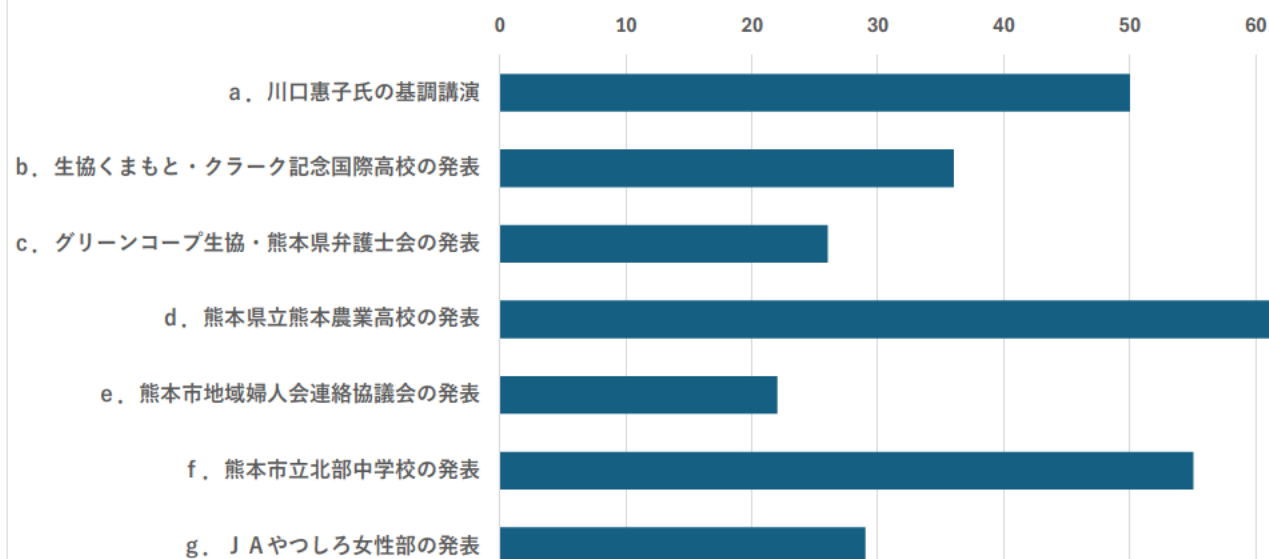
	合計	会場	WEB
とても役立つ	36	20	16
役立つ	48	34	14
あまり役立たない	1	0	1
役立たない	0	0	0
無回答	3	3	0
合計	88	57	31



2.参考になったプログラムはどれ?(複数回答可)

プログラム	合計	会場	WEB
a. 川口恵子氏の基調講演	50	29	21
b. 生協くまもと・クラーク記念国際高校の発表	36	25	11
c. グリーンコープ生協・熊本県弁護士会の発表	26	14	12
d. 熊本県立熊本農業高校の発表	64	38	26
e. 熊本市地域婦人会連絡協議会の発表	22	12	10
f. 熊本市立北部中学校の発表	55	33	22
g. JAやつしろ女性部の発表	29	19	10
合計	282	170	112

2.参考になったプログラムはどれ?(複数回答可)



主なメッセージ

今日のプログラムを通じて、新たな気づきや学びがありましたか。

世界への発信が大事だと気づかされた

安いものを求める消費意識と、「エシカル消費」の考え方について整理することができました。「意思決定」は経済的投票という考え方も、自分自身が常に「選択・判断」していることだと気づかされました。

川口教授の講演から改めて、消費者教育は、意思決定、資源管理、市民参加が基本であること、批判的思考の育成が必要と分かった。各活動報告から、継続の力、自ら気づくこと、若い人の力に感動しました。素晴らしいフェスタになりました。

消費者教育の近年の考え方や取り組みが大変参考になりました。

エシカル消費について、言葉としては聞いたことがあったが、具体的にどう行動すればよいかわからなかったので非常に学びになった。

豚脂から石鹼を作ることができることと、生協の活動が生活困窮者の支援に繋がるケースがあるのを知ったこと。

高校生、中学生が頑張ってます。大人はもっといい例を見て頑張らないと！と思った次第です。

川口先生のエシカル消費の概念のご講演から生まれてきてから亡くなったあとまで消費との関係があるとの視点に気づきと学びを頂きました。
学校教育の中や、地域での課外活動への組み込み方次第で、少なくとも関心を持つ人が大きく増えていくような可能性を感じました。
消費者教育は日頃の学習のすべてにつながっており、社会人として生活する上で必要不可欠な賢明に生きるベースになる力であると再確認しました。
エシカル消費は自分たちの身近なものであり、意識すれば行動につなげられることを再認識した。学んだことを広く、継続的に啓発していきたい。
エシカル消費とは何かを詳しく知ることができた。また、学校の取り組みも参考にしたいと思った。
熊本県は、フェアトレードシティに認定されているということ。
米研ぎの回数など、身近でできるエシカル消費の大切さを学べた。
基調講演により、消費者教育の背景や目的を知ることができました。
身近なところにある課題をどう捉えられるかについて、熊本農業高校の取組がとても参考になりました。今後、生徒と一緒にあって身近にある課題を発見し、その課題を克服するために、どのような目標や目的を設定したらよいか考えたいと思っています。
私たちが生活していく中で、毎日がエシカル消費実践の取組みに繋がる。改めて気づきを得たところです。
幅広い世代がエシカル消費、持続可能な生産と消費のためにそれぞれの分野で活動していることがよく分かった。
自分で気づき、実践することの大事さを痛感した。また、多くの方が行動されている姿を見て、刺激を受けた。
パネル展示を拝見させていただきました。中高生、大学生、若い世代の参加があり、とても頼もしく思いました。
エシカル消費について過去に何度か別の講座等で聞いたことがあるが、川口先生の講演の中で「考えは地球規模、行動は足元から」というキャッチコピーが印象に残りました。消費者としてのエシカル消費への取り組み方を端的に表していて、わかりやすいです。熊本農業高校の取組をきき「これが探求学習なんだ！」と感じ、他の高校でも取り組んでほしいと思いました。
エシカル消費の考え方、具体的な取組について気づきがあった。
消費しながら生活すると言うことと責任と社会とのつながりを改めて考えさせられました
今までエシカル消費やフェアトレードについて深く考えたことがなかったけど、今回で考えを深めることができた
企業が行っていることだけではなく自分からできることを考えるのが大切だと気づくことができ、とても学びが多かったです
フェアトレード商品やエシカルについて新たに学ぶことがたくさんあった
エシカル消費やフェアトレードについて深く知るきっかけになりました
熊本農業のパワポがすごく上手くまねしたいと思いました。今回のイベントは私にとって成長することのできた一日でした
消費者教育を通じての取り組み方には様々なアプローチがあることがわかりました。また、一つの取組のために企業の方や専門家の方の協力なしにはやり遂げることができないと感じ、これからの活動に活かしたいと思いました
熊本農業の石けんを使用してみたいと思いました。中学生、高校生のがんばりがわかりました。フェアトレード商品があるのをはじめて知りました。今後購入したいと思います
エシカル消費という言葉は知りませんでした。熊農の生徒さんの取り組みが一番感激しました。フードドライブとかSDGsは今も実行しております

中学生、高校生が情熱をもって取り組んでいる、このことを発表を通じて実感できました。すばらしい取組でした。若者に負けずに自分もまだまだがんばりたいと思いました
何事も続けること、つなげること、若い人たちの発表はとても力強く感じました。今後に期待します
フェアトレードという言葉は初めて聞いた
フェアトレード商品を買ってみたいと思った
・フードドライブの取組 ・熊農の発表は昨年も聞きましたが、継続して取組をしていることが聞いてよかった ・フェアトレードについて初めて知った。見かけたら購入してみたいと思った
フェアトレード
子どもたちの活動は素晴らしい。次につなげてほしい
若い高校生の活動発表がよかった（会場内の若い人たちが見えた）質疑は中学生高校生に今から活動をしていく若い人たちに答えを詰まらせるような質疑はしないでください。学生の発表が今日の会場を明るくしてくれました。これからの活動をがんばってください
川口先生の講演、熊農の取組に感心した
いくつかありました。「エシカル」という言葉だけ意識して暮らしていましたが、熊本市が「フェアトレードシティ」とやりに指定されていると初めて知りました。「ラブランド」にもぜひ足を運びたいです。 ※100Km以上離れているので、めったに熊本には来れませんが。
知らない言葉が大変多く理解でき、良かったです
フェアトレード等初めて聞きました。これらのことも一般につなげていきたい
もっとたくさんの方にとと思いますが、人数制限がありますので仕方ないですけど。他に伝えたい。エシカルの言葉→もったいない。最近消費期限賞味期限を気にしすぎ。現在は化石語と思っていましたが。
エシカル消費の背景や日本人としてどう考えるかという視点が学びになりました
学校教育における消費者教育を推進していくうえでヒントとなるキーワード（批判的思考、自己責任等）を示唆いただけました
エシカル消費・・・もっと考えなければ
廃棄処理するものが何かに活かせるのではないかと気づきが必要だと思いました
身近なところから始めていこうと思いました。エシカル消費を心がけます
詰め替え用の洗剤より本体が安い時はつつい安いほうを買っていたので考えさせられた
消費者教育の推進に関する法律の存在を知ることができました。図書館にて法律書を読まねばなりません。
熊本農業高校の取組はすごいなあと思いました
フェアトレードの事はよく知らなかったので勉強になりました。熊農生すごい！！
エシカル消費ということばを初めて聞き洗米から実現しようと思いました。食の問題はこれからの日本にとっても大切なことだと思う。JA女性部の活動は素晴らしい。SDGs！！
物持ち我家をスリムに頭を使って生活したいと思いました。
中高生が活発に取り組んでいるのを聞いて良かった
皆様の発表とても良かった
毎日忙しい生活の中、本日は参加してとても良かったです。
川口先生のエシカル消費すべての生活に通じることが分かった。
エシカル消費再度実感しました

ご自身の今後の取組や活動、日常生活に役立つと思われましたか。
当県の高校教育と消費者教育の連携に役立てられると感じた。
主権者教育、消費者教育の講座で取り入れたい。
今後、自らの生活を見直す。啓発活動の目的がぶれないようにする。連携・協働を意識して活動する。
自身の消費生活と、学校教育の場で活用したいと思います。
地球のため、未来の子ども達のため、意識して自分のできる範囲でのエシカル消費をしていきたいと思いました。
常に自然な形でエシカル消費を意識する消費者になるよう心がけたいと思った。まずは日頃の買い物行動から見直したい。
具体的なことはこれからですが地域づくり 人づくり 全てに関連しますね。 総合力でウェルビーイング。医療、福祉、教育 考えて行きたいです
学校教育現場において、全校生徒を対象として教科内や教科横断としての総合的な学習の時間で消費者教育を取り上げるうえでの課題を多く感じています。特に探究学習につなげるには、圧倒的に単元数が足りない状況下であり、家庭科においても学ぶ内容が多岐にわたるため、家庭科教員の知識も不足し取り扱っていないのが現状です。
会社での教育機会の創出 家庭でもエシカルを意識、家族で話題にする。(娘がボランティアをやっており、皆で参加してみたい)
発達段階に応じたエシカル消費について啓発できるように、具体例をもとに伝えていきたい。
授業づくり(アフリカ州の支援への取組、消費者教育について、SDGsについて)への案が深まったこと。消費者としての選択にもっと責任を持つことが大事だと感じた。
フェアトレードについて学習を深めていきたい
毎日の行動から意識していきたい。
日常生活において、何らかの消費をする際にその背景を意識するようにしたいと思います。
5と同じです。
エコバックは既実践していることから、今後はフードロスに繋がるような取組みも心がけたい。
消費者教育の講演等をしているので、今日学んだことを行かしていきたい。
日常生活から、自分自身で取り組んでいきたい、また、他の方にも、熊本にはこんな頑張っている団体がいることを紹介していきたい。
私の住んでいる県にも、今回発表していただいたような自分たちと考えていることや目標としていることが同じ団体があると思うので、お互いの強みをいかした協働での取組ができるのではないかと感じました。
出前講座等に活かしたい
私は今までよりも学勉に勤しみ、フードドライブやフードロスにつなげていきます
今後は子ども食堂に行く頻度を増やし、学校との結びつきを強くするとともに、普段の生活の中でも心がけて生活していきたいと思います
フェアトレードという言葉は知っていますが、購入したことはないので、今度から気をつけて見てみたい、購入してみたいです
子どもたちを守るために消費者教育の学校、家庭、地域における充実を目指して消費者教育にかかわる者として、そのことに誇りをもってこれからも取り組んでいこうと思います。
食品はムダなく買い作り、残さずに・・

米洗いや洗剤の使い方は自然に行動していて改めて聞いて「ほめたい」と思った。フードロスに気を付けて特に、老夫婦二人暮らしにおいては考えさせられると痛感し、実行に移したいと思いました。
もっと本日のような会に参加して勉強してみたいと思った
生活の中で何をすることも消費にかかわっていることを気づいたので意識してスマートに暮らしたいと思います
どこの農家も最低限の農薬しか使っていないと思います
子どもたちの食農教育を行いながらエシカル消費者教育も行っていけたらいいと思った。ネット通販の時代、金銭教育も大切だと思った
活動を取り入れたいと思います
エコクッキングの講師をしているので川口先生内容を生かしたい
身近にできること（フェアトレード商品を買う、探す）から始めます。また、当組織で講習会等開催していきます。
JAの女性部ですが組織を通じて「もったいない」を再燃したい
教員をしているので経済的投票権という言葉伝えていきます
中学校で社会科の教員をしています。公民的分野において消費者教育をしておりますが「自立した消費者」の育成のために今日学んだことを生徒に伝えていきます
SDGの学習をして活動する
子どもに対していろんな考えを頑張りたい
フェアトレードシティとしてのPR不足だと思います
途中休憩が欲しいです
使い方を考えて使う。なんとなく・・・はやめて無駄をなくしたい。学生さんを見習って私たちも今後を見据えて小さいところから改良し、町の活性化にもつなげたい。
フェアトレード商品を買う 家の服の枚数を数えてみる
自分の消費について考えさせられ、改善したい。このフェスタの事を他の人に伝えたい。
SDGsについての活動に重点を置くように努めたいと思う。
賢いスマートライフを目指したいと思いました
生徒さんが課題を見つけ解決していく過程がとても参考になりました。今後の取組につなげていきたいと思いました。
食べ残しをなくす 食べる分だけ作る
身近なところからエシカル消費について考え、実行して行きたいと思、次代へつなげていきたい。
フードドライブやフェアトレード商品を買ってみたいと思いました。

ご意見がありましたらご記入ください。
熊本の様々な取り組みがわかりました。この情報を広めたいと思います。ありがとうございました。
登壇者がマイクを回さないでよいようにあらかじめ複数の方にお渡しできていたら良かったですね。オンラインで参加できまして良かったです。ありがとうございました😊
基調講演のご発表資料（PDF）について、オンライン視聴の際にチャット画面からアクセスして取得できるようにして頂けると、当日中に聞き逃しなどの確認ができるため助かります。宜しくお願い致します。
大変参考になる事例をたくさん紹介していただき、よい勉強になりました。

<p>皆さん、大変様々な取組をされており、参考になることが多く勉強になりました。フェアトレードについては、アフリカ等の国も貧富の差はあるのですが、その差は小さくなってきています。これも皆さんをはじめ皆さんの取組の成果だと思えます。ただ日本の国民自体が世界的に見て貧しくなっていることにも気づかないといけないと思えます。世界のひずみのその多くを日本が受け止めている自体を何とかしないとならないと思えます。</p>
<p>熊本のみなさんの元気な活動の様子が伝わる、充実した内容でした。最後の質疑応答のところで、発表者同士の意見交換や交流があってもよかったかと思えます。また、これを機会に、それぞれ単独で行うことの多い活動が互いにつながり、地域で連携した取り組みができるとうれしいと思えました。</p>
<p>多くの年代層、多くの団体が取り組んでいる様子を見て、もっともっと活動の輪が広がればと思った。</p>
<p>アットホームな感じで良かったです。</p>
<p>今後もぜひ実施してください。ウェブ参加できるととても助かります。</p>
<p>今の中学生、高校生、素晴らしい。将来が楽しみで期待できますね</p>
<p>ありがとうございました。参加して良かったです。とてもあたたかい気持ちになりました。</p>
<p>多くの人に本日の話をしたいと思えます。若い人たちの意見に感動しました</p>
<p>川口恵子様のご講演の中で「ラフォンテーヌ？」「えええ？」とドキッとしました。カラスが悪く言われるとは！！見えない潜在意識（国民性？）が影響しているんですね。おどろきでした。海洋汚染に興味があるのですが、緩効性肥料のプラスチックが大変身近な問題でいろいろ学んできましたが、それに対応できる肥料が身近まで届いてきました。嬉しいニュースです。</p>
<p>オーガニックの言葉が出ましたが（婦人会）価値観をお金に乗せなければ作る人の生活が成り立たないのをご存じですか？</p>
<p>最後の質疑応答が良かったです。具体的にお話しされて。</p>
<p>アットホームなパネル展示等で沢山の情報をありがとうございます</p>
<p>スクリーンの画像がぼけてほとんど見えなかった</p>
<p>フードドライブについて食品ロスを抑えるために旬の食品生産に注力しないのでしょうか。時期を外し野菜等の生産をするためにどれだけのCO₂ガスの排出をされていますか（ボイラーやエアコン等）江戸時代の旬の生産物生産に戻しませんか。</p>
<p>中高生の取組に感心するとともに大変刺激を受けました。「経済的な投票権」は消費行動を新たな視点で捉える視点と思えました。</p>
<p>県内のいろいろな消費者団体から発表、展示、参加されていてつながりの幅広さを感じました。食品表示ウォッチャーの事業が参考になりました。</p>
<p>素晴らしい発表ばかりで感心させられました。</p>